



「この橋を過るときに
きつと思い出します」
12月21日(月)国道10号豊前拡幅「新吉橋」の完成式が行われました。橋名板(橋の名前を記した金属の板)に同橋の名前や完成年月日等得意の習字で書いた築上東中学校生徒4名(3年生の林亜采香さん、八坂さまさん、2年生の秋吉佳耀美さん、福田梓奈さん)が招待され、国土交通省九州地方整備局、工事関係者の方々から橋名板のレプリカ(複製)や記念品が贈られました。生徒たちは「すっと思い出に残るので嬉しいです。この橋を通るときにきつと思い出します」と喜んでいました。橋を含む区間は現在工事中ですが今年度末に開通します。

「この橋を過るときに
きつと思い出します」
12月21日(月)国道10号豊前拡幅「新吉橋」の完成式が行われました。橋名板(橋の名前を記した金属の板)に同橋の名前や完成年月日等得意の習字で書いた築上東中学校生徒4名(3年生の林亜采香さん、八坂さまさん、2年生の秋吉佳耀美さん、福田梓奈さん)が招待され、国土交通省九州地方整備局、工事関係者の方々から橋名板のレプリカ(複製)や記念品が贈られました。生徒たちは

「すっと思い出に残るので嬉しいです。この橋を通るときにきつと思い出します」と喜んでいました。橋を含む区間は現在工事中ですが今年度末に開通します。

習字で書いた橋の名前が
「橋名板」になりました

●築上東中学校生徒 新吉橋完成式に参加

●文化庁生活文化普及支援事業

「みんなで学ぶ楽しい囲碁入門教室」

12月13日(日)、げんきの杜で「みんなで学ぶ楽しい囲碁入門教室」が行われました。講師にプロ棋士の清成哲也九段、孫英世四段を迎えてから親子連れなど約70名が参加しました。今回の教室が週に1回でも子どもに囲碁を教える教室を実現するきっかけとなることを願い実行委員会で企画されました。実行委員会副会長の重吉康雄さんは「古い日本の文化である囲碁を楽しんで勉強し将来皆さんの教養の一

つにしてもらいたいです」と挨拶しました。講師から囲碁のお話やルールとマナーを教わり親子で話しかけた、「ときどき親子でやつてみたい」などの感想が聞かれ満喫していました。参加者からは「楽しかった」「ときどき親子でやつてみたい」などとの感想が聞かれ満喫していました。

なお、第3回の教室が2月21日(日)、第4回の教室が3月21日(日)に開催されます。興味を持たれた方は早めにお問い合わせください。

●申し込み・問い合わせ先
みんなで学ぶ楽しい囲碁入門教室実行委員会事務局
中尾哲治 Tel 090-2511-6846



皆さんの前に解答を示します
親子で真剣に碁盤で練習します

こうげ文芸

【南吉短歌】

今年こそ太極拳に虎いせん氏神様に両手を合わす

遠き日のアルバム見ればたちまちに古き友らの姿顕ちくる

皓皓と枕辺照らし初満月祝賀の舞いに月の世界へ
考えに考えぬいて数独の解けたる至福われのみが知る

秋吉 都

吉田 美代子

二反田 和美

友廣 久子

馬場 静香

川島 千鶴

喜多代 正文

成人式・出初式

2010年(平成22年)2月号



福岡県知事表彰

廣崎正一、原岡清治、山下 朗、秋吉藤男

日本消防協会表彰

精績章 前田祐文

勤続章 藤本久雄、福本利三、山本信秋

福岡県消防協会表彰

永年勤続25年 大桐 豊、高西直樹

永年勤続20年 廣崎正一、原岡清治、山下 朗
秋吉藤男永年勤続15年 井下英文、秋吉 実、尾北英敏
高木圭介、岡崎 浩、内尾秀隆永年勤続10年 永元保隆、田中文雄、東 正二
村上誠一、御屋敷剛優良団員 末松直幸、茂森宏一郎、有徳義則
川野博一、岩谷信宏、東 正二
秋吉和彦、芝原光男、松永 浩

上毛町・吉富町による「平成22年築上東部二町合同消防出初式」が、1月18日(月)に上毛町総合グランドで行われました。出初式は、警察、消防、二町関係者のはか多数の来賓が見守る中、厳嵩に行われ、鶴田町長をはじめ来賓の方々による各消防団の人員、機械器具の点検の後、消防団員と消防車の行進、団員への各種表彰などが行われました。

なお、上毛町消防団関係の表彰者は次のとおりです。



氣持ち新たに

築上東部二町合同消防出初式

● 平成22年上毛町成人式

人として希望と責任を持つ

月4日(月)、げんきの杜において新成人88名(対象者95名)を迎えて厳嵩に執り行われました。鶴田町長から「上毛町に生を受けたことを誇りに、これまで受けたこととを踏まえ、これからも引き出し発展させてください」と激励の言葉が贈られました。

会議長からは「新しい時代を築いていくためには、皆さんのが必要で、上毛町の魅力を引き出し発展させてください」と柔軟な発想と行動を必要とし、「自らのことはかりに気を取られることなく、家族、地域、日本、そして世界のことにも広く目を向け、人として希望と責任を持ち、おののが選んだ道をしっかりと歩んで社会に少しでもお返ししていくことを誓いました。

式典終了後の記念講演会では元マラソンランナーの松野明美氏をお迎えして「夢を描いて素

の皆さんには人生の先輩の話に熱

心に耳を傾けていました。

● 2010年(平成22年)2月号

2010年(平成22年)2月号

駅伝大会・夢の教室

第4回

上毛町駅伝大会

新春の上毛町を走ります

1月17日(日)、トレーニングセンター周辺で、第4回上毛町駅伝大会が行われました。町内から23チーム177名が参加し健脚を競い合いました。結果は次のとおりです。



地区対抗の部			地区対抗の部		
団体の部	区間の部	オーブンの部	区間の部	オーブンの部	オーブンの部
優勝 西友枝チーム	1区 西友枝チーム	47分04秒	優勝 J A福岡農業チーム	1区 J A福岡農業チーム	10分43秒
準優勝 垂水下区チーム	2区 吉岡チーム	52分12秒	準優勝 消防署東部分署Aチーム	2区 消防署東部分署Aチーム	09分56秒
三位 安雲チーム	3区 西友枝チーム	52分39秒	三位 新吉富少年野球クラブAチーム	4区 新吉富少年野球クラブAチーム	09分21秒
オープンの部			オープンの部		
優勝 消防署東部分署Bチーム	5区 西友枝チーム	45分12秒	優勝 新吉富少年野球クラブBチーム	1区 新吉富少年野球クラブBチーム	08分08秒
準優勝 消防署東部分署Cチーム	4区 西友枝チーム	46分28秒	準優勝 JA福岡農業チーム	2区 JA福岡農業チーム	09分57秒
三位 J A福岡農業チーム	5区 西友枝チーム	49分14秒	三位 小林 昌貴	3区 吉岡チーム	11分03秒
オープンジュニアの部			オープンジュニアの部		
優勝 新吉富少年野球クラブAチーム	4区 新吉富少年野球クラブAチーム	53分30秒	優勝 大平 壮一	2区 大平 壮一	09分26秒
準優勝 大平少年野球クラブBチーム	5区 新吉富少年野球クラブBチーム	53分39秒	準優勝 小野本 透	3区 小野本 透	08分43秒
三位 新吉富少年野球クラブCチーム	1区 新吉富少年野球クラブCチーム	54分52秒	三位 是石 智文	4区 是石 智文	07分56秒
総合			総合		
ブービー 日本プラスト(株)チーム	5区 日本プラスト(株)チーム	1時間03分47秒	ブービー 葉金 天	2区 葉金 天	06分54秒



● 友枝小学校 JFAこどものプロジェクト「夢の教室」

12月9日(水)、友枝小学校でJFA(財団法人日本サッカー協会)こどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったゲームをしたり「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったり、「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったり、「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったり、「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったり、「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったり、「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったり、「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったり、「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったり、「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったり、「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったり、「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったり、「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったり、「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったり、「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったり、「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったり、「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったり、「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったり、「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたちに伝えています。今回の「夢先生」はアビスパ福岡で10年間活躍し、現在は、同チームコーチの塚本秀樹さん(36歳)でした。教室ではボールを使ったり、「けがをしてあきらめかけた時、友だちが励まし支えてくれたこと」など、夢を持ちあきらめないことの大切さを子どもたちが学んでいました。授業を受けた熊谷君(5年生)は、「絶対にあります。友枝小学校でJFAこどものプロジェクト「夢の教室」が開催されました。これは、子どもたちの心身の健全な成長に寄与することを目的に日本サッカー協会が取り組んでいる活動で、サッカー選手が「夢先生」として「夢を持つこととの素晴らしさ」、「夢に向かって努力することの大切さ」を子どもたち